

主な検査値一覧表

略名	検査項目名	基準値	単位	検査の説明
WBC	白血球数	3.3~8.6	×10 <sup>3</sup> /μL	感染症などの炎症や血液疾患等で異常を示します。
NEUT	好中球数	0.99~6.02	×10 <sup>3</sup> /μL	白血球の一種で、感染症、炎症等で増加します。
Hb	ヘモグロビン（血色素量）	13.7~16.8	×g/dL	貧血や多血症の診断などを推測できます。
Plt	血小板数	158~348	×10 <sup>3</sup> /μL	出血傾向、血液凝固性疾患を推測できます。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~30	U/L	肝障害や心筋梗塞等で増加します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	10~42	U/L	肝障害等で増加します。
T-Bil	総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	黄疸の指標になります。
CK	クレアチンキナーゼ	59~248	U/L	心筋梗塞などの心臓病や横紋筋融解症などの筋肉の病気で増加します。
sCr	血清クレアチニン	0.65~1.07	mg/dL	腎機能が悪くなると増加します。
eGFR	推算糸球体濾過量	-	mL/分/1.73m <sup>2</sup>	腎機能が悪くなると低下します。
CRP	C-反応性蛋白	0~0.14	mg/dL	炎症や組織の損傷等で上昇します。
K	カリウム	3.6~4.8	mmol/L	腎臓の病気やホルモンの異常、脱水などで高くなったり、低くなったりします。
Na	ナトリウム	138~145	mmol/L	
Ca	カルシウム	8.8~10.1	mg/dL	骨の病気やさまざまな内分泌の病気で異常を示します。
PT-INR	プロトロンビン時間（標準比）	0.9~1.2	-	血液の凝固異常を推測できます。
HbA1c	グリコヘモグロビンA1c（NGSP）	4.9~6.0	%	過去1~2カ月の平均的な血糖値を反映し、糖尿病で高くなります。